



小学生を対象にした林業教室



長寿命化への工事が進む曙橋

川辺川総合土地改良事業ですが、平成30年2月に国営川辺川土地改良事業廃止処理計画に基づく農業用排水事業の廃止が確定しました。今後は、3カ年の計画期間により造成団地の水手当てに伴う実施設計と施設整備等が推進される見込みです。

スマート林業関係ですが、人吉市版森林クラウドの構築や球磨川下り造船に使用する木材の検索等を行うなど、木材流通の新たな仕組みづくりに向けた検証や試行を実施し

ました。また、林業フェアや林業教室などを開催して林業の認知度向上に努め、球磨中央地区林業活性化協議会を事業主体として平成30年度から3年間の計画でスマート林業構築実践事業を実施しています。

市営住宅関係ですが、外壁や屋上防水の改修、浄化槽や給水設備の整備を計画的に進

め、笹栗山団地の外壁改修工事や門前団地の給水設備改修工事などを順次施工し、火災警報装置改修や経年劣化した住戸の修繕など、居住環境の維持と向上に努めてきました。

土木関係ですが、曙橋は平成30年12月に上部工補修工事を終え、橋脚補強工事の準備を進めています。また、下林北願成寺線歩道整備工事や上林中神線道路補修工事など、安全で快適な道路環境の整備を実施し、橋についても近接

目視点検調査などを行い、今後の補修工事の計画等に反映しています。都市計画関係ですが、景観計画・景観条例の策定については人吉市景観計画等策定審議会にて検討、審議を重ねられ、平成30年4月に人吉市景観計画案の答申をいただきました。景観行政団体への移行を目指して校区ごとに住民説明会を実施し、今後は地区別説明会を計画しています。都市公園関係ですが、瓦屋公園、相良公園、下新町公園の施設改築・更新工事が完了しました。また、石野公園の施設整備については正面駐車場トイレの改修工事と園路の改修舗装工事の一部が完了。道の駅のため園内の環境整備をさらに進めていきます。

街路事業関係ですが、都市計画道路下林願成寺線道路改築事業については、平成30年3月から道路北側歩道部の着工をしています。事業の進捗率は72%で、未買収の土地の所有者に理解を求めながら用地交渉に努め、早期の完成を目指していきます。戸建木造住宅の耐震化を促進する戸建木造住宅耐震改修



スマートインターチェンジ工事現場見学会

等事業ですが、平成29年3月に人吉市建築物耐震改修促進計画を改訂し、建替え工事と耐震シェルター工事を補助対象として追加し、より実効性の高い補助制度として拡充を図りました。スマートインターチェンジ整備事業関係ですが、平成28年11月に全ての用地の取得を完了し、西日本高速道路株式会社を担当する本体工事と、本市が担当する国道219号仮設道路工事、本線改築工事を進めています。今後は本市が担当する工事としてスマートインターチェンジ案内標識設置工事や交差点照明柱設置工事を実施し、本年秋の開通を目指しています。

### 8 組織別・教育部関連

教育関係ですが、子どもたちを取り巻く諸問題に対応するため「ひと・もの」といった教育環境の充実を図りながら、より良い社会を築いていく礎となる教育に力を注いできました。

小中学校の部活動関係ですが、平成30年9月に策定した中学校部活動の新たな指針により、成長期の子どものためのバランスのとれた生活の創出や教職員の働き方改革などに着手しています。また、小学校運動部活動の社会体育移行については試行の状況も踏まえ、平成31年4月からの実施体制などについて協議が最終段階に入りました。郷土の偉人である一井正典翁の足跡をたどり、米国のIT企業の一大拠点「シリコンバレー」等を体験させる機会を創出することを目的に取り組んでいる「一井正典青雲の志育成事業」を、平成27年度と平成29年度に実施しました。29年度に派遣先で交流し

た神奈川県の聖光学院の生徒が平成30年7月に本市を訪れ、本市の生徒と「人吉×聖光の未来プロジェクト」と題した活動を行うなど、若者たちの熱意と行動力に期待をしています。

公民館関係ですが、中原校区公民館が平成28年3月に人吉球磨地域では初めてとなる、第68回優良公民館表彰を受賞されました。校区を一つの地域としたまちづくりへの期待が高まる中、活動拠点や災害対策支部としての施設機能を担保すべく、校区コミュニティセンターの耐震診断などにも力を入れてきました。スポーツ関係ですが、NP法人人吉市体育協会と共にスポーツ振興事業基金を平成29年6月に創設し、青少年スポーツの人材育成拡充を図ってきました。また、平成29年の第72回熊本県民体育祭人吉球磨大会に合わせ、村山公園テニスコートの人工芝化や第一市民運動広場のナイター照明改修など、スポーツ施設の改修などに取り組みしました。図書館関係ですが、人吉市図書館の利用促進を図り、市民の読書活動を推進するた



一井正典「青雲の志」育成事業全体報告会



麓町本庁舎跡地発掘調査現地説明会

め、「人吉ふれあい百円商店街」に合わせた移動図書館車の派遣をこれまでに3回実施し、多くの方々に本に触れる機会を提供できました。日本遺産関係ですが、人吉球磨のストーリー「相良七百年が生んだ保守と進取の文化日本でも最も豊かな隠れ里人吉球磨」については、平成29年4月に新たに16件の構成文化財をお認めいただき、構成文化財を57件として人吉球磨が一体となった日本遺産の魅力づくりを進めてきました。

人吉城跡保存整備関係ですが、平成30年8月から史跡人吉城跡保存整備基本計画の改

訂に着手しました。庁舎跡地の発掘調査では江戸時代中頃の「人吉城大絵図」に描かれた家臣屋敷の敷地境界と推測される石列が発見されるなどの成果がありました。発掘現場の現地説明会や、本丸・二の丸・三の丸などの近世城や中世城郭も見学する「人吉城歴史さんぽ」を実施し、人吉城跡の文化財としての価値について理解を深めていただきました。

### 9 組織別・水道局関連

上水道事業関係ですが、老

朽化した水道施設の更新、地震等の災害対策など事業費の増加が見込まれる一方、少子高齢化・節水型社会への移行による給水収益の減収が続いているため、「安全・強靱・持続」を基本方針とした「人吉市水道事業ビジョン」を策定。平成29年に22年ぶりとなる水道料金改定を行い、安全安心で強靱な水道システムを構築するための水道事業運営に努めてきました。

公共下水道事業関係ですが、平成27年5月に九日町汚水中継ポンプ場、平成29年8月には矢黒町汚水中継ポンプ場において改築更新工事を実施し、衛生的で快適な生活環境の保持に努め、平成29年度からは処理場等の施設及び下水路のストックマネジメント計画の策定にも着手しています。

浄化槽関係ですが、合併処理浄化槽への転換促進について平成28年度から5年間の整備計画を策定し事業を推進しており、平成29年度までに39基、平成30年度には26基の転換等について助成、生活排水処理など住環境の改善に努めています。